

平成24年度第2回小牧市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成25年2月19日(火)
午前10時～午前11時30分
- 2 開催場所 小牧市役所東庁舎2階会議室2-2
- 3 出席者 会長 長尾英俊 委員 佐藤史郎
委員 中川宣芳 委員 舟橋巧
委員 岩瀬勝美 委員 鹿島美枝子
委員 花井忠征 委員 黒田真二
委員 松浦昌美 委員 田中雅之
- 4 欠席者 なし
- 5 説明のため出席した事務局員
教育委員会
教育長 江口光広 教育部長 中嶋隆
教育次長 舟橋泉 ｽﾎﾟｰﾂ推進課長 松永祥司
ｽﾎﾟｰﾂ推進課係長 奥村恒洋 ｽﾎﾟｰﾂ推進課主事 吉田祐将

体育協会
事務局長 大野正博 管理事業係長 松本文弘
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題 小牧市スポーツ推進審議会
- 8 会議の資料 1 平成25年度教育委員会基本方針(案)について(スポーツ推進課分)
2 平成25年度社会体育事業実施計画(案)について
3 平成25年度社会体育予算(案)及び主要事業(案)について
- 9 議事内容(要旨)
○事務局
本日は寒い中、また大変お忙しい中、ご出席頂きまして、ありがとうございます。
只今から、平成24年度の第2回小牧市スポーツ推進審議会を開催いたします。
- 10 あいさつ

○教育長

皆さんおはようございます。本日はお忙しい中、スポーツ推進審議会にご出席をいただきまして本当にありがとうございます。

日頃の小牧市のスポーツ推進にそれぞれの立場でご尽力、ご協力いただきまして本当にありがとうございます。平成24年度の小牧市のスポーツ関係事業も終わりに近づいてまいりました。市のスポーツ推進というのは2つの面を持っていると思います。1つは一流のアスリートを育成する競技力の向上、2つめとしては、市民のみなさんが幅広く、日常生活の中でスポーツに関わっていただく機会の提供があると思います。

この2つの面を小牧市のスポーツ関係の団体である体育協会、スポーツ推進委員のみなさん、各地区のスポーツ振興会、各競技団体のみなさんと連携をしながら事業を進めていきたいと思っております。

本日は平成25年度に向けての様々な計画等をお話させていただきますので、どうかご忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。

○長尾会長

改めましておはようございます。今年度、第2回目ということで、初めての方も見えますがこれから2年間、様々な形で小牧市のスポーツ推進についてご意見をいただきたいと思います。平成25年度に向けてとして信長の小牧山城築城450年ということで、この1年間様々なイベントを実施していく中でスポーツの推進にも力を入れていきたいと思っております。市全体のスポーツの底上げ、市民総スポーツ化を目指して寺本選手のような素晴らしい選手が輩出できれば凄いことであると思います。簡単ではありますが、あいさつとさせていただきます。

○事務局

次に、次第2に基づきまして、議事録署名人の選出については中川委員にお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

また、本日、委員全員が出席でありますので規定により会議は成立しております。

続きまして次第3の議事に入りたいと思います。

1 1 議事内容（要旨）

○事務局

議事の進行につきましては、規定により、会長が会務を総理することになっておりますので、会長、よろしく願いいたします。

○会長

それでは、先日いただいた資料により議題に従いまして、議事審議に入りたいと思います。

議題第1号 「平成25年度教育委員会基本方針（案）について（スポーツ

推進課分)」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

○事務局

(議題第1号、資料に基づき概要を説明)

○会長

議題第1号について、説明をいただきました。変更点等につきまして前回は審議していただき、みなさんにご理解いただきましたジュニアクラブのあり方について軌道修正して赤字で表記してあります。それ以外の部分につきましては変更なしということで行きたいと思います。何かご意見等がありましたらお願いいたします。

○委員

(2)の小学校区スポーツ振興会と総合型地域スポーツクラブの関係性、位置づけはどうか。また総合型地域スポーツクラブとは何なのか。

○事務局

総合型地域スポーツクラブとは、現在、各小学校区でスポーツ振興会が組織され、地域のスポーツの推進が図られています。振興会の実態としましてはそれぞれの種目ごとの加盟団体が振興会に加盟しており、住民対象の行事もやっております。また総合型地域スポーツクラブは、会員制の誰でも入れるスポーツクラブで、文科省が進めている事業です。これをひとつのモデルとして地域の人々が会員になれば誰でも入れるクラブの環境整備をしていく。従来、各スポーツ団体は勝利至上主義や気のあった仲間同士しか参加できず、それが高齢化したのが実情であります。そういった現状を打破するために、会員になれば誰でも参加できるクラブとして、総合型地域スポーツクラブ検討委員会を設けて議論を進めているところであります。

○教育長

課長が申し上げたことを少し言葉を変えて、補足をさせていただきます。スポーツ振興会は、約35年ぐらい前に生活も豊かになり、地域住民にスポーツに親しんでもらおうということで働きかけをしました。当時はソフトボールやママさんバレーが最も盛んで、それを核として地域のスポーツ振興を働きかけようとなりました。そして時代の流れとともに現在では個人や家族でスポーツを楽しむ割合が多くなり、文科省の指導方針でもありますが、ヨーロッパ型のスポーツクラブ、会費を募り、会員になって登録をしてもらって、スポーツマネージャーを養成して多世代の様々なチームが要望する種目、メニューを用意して進めようとして総合型地域スポーツクラブ目指そうということです。しかし、理想が高すぎるので現在では4つの振興会が地域スポーツクラブになっている状況です。

○委員

地域スポーツクラブになっているところは多種目のスポーツが楽しめるのですか。会費を納めて自由に参加できるのですか。

○事務局

会員制スポーツクラブであるので、会員になればどんなスポーツにも参加できるというのが本来の姿であります。実情としましては、完全にスポーツ振興会から地域スポーツクラブに移行していないということもありまして、トータルスポーツということではいろんな種目を体験してみて、自分に適したクラブに加入するといったスタイルをとっているところもあります。まだ過渡期ということで完全な総合型地域スポーツクラブになっていないところが多いです。

○会長

先ほどの話にありましたが、スポーツ振興会は35周年ということで総合型地域スポーツクラブへの移行を目指すというのは活性化策の一つにもなるのではないかなと思います。他にはいかがでしょうか。

○委員

各地区のスポーツ振興会の中でも盛んなところが総合型地域スポーツクラブへの移行を目指したと思うのですが、まだスポーツ振興会のままのところもそれは校区内の活動として非常に意味があるのでスポーツ振興会の発展も考えていかなければならない。また総合型地域スポーツクラブを増やしていくにはクラブマネージャーの養成も必要になってくると思いますが、それについての取り組みはありますか。また受講生の対象はどんな方になりますか。

○事務局

スポーツ振興会の活性化については、現在のスポーツ推進計画の中ではできるところから取り組んで行きましょうという計画を持って実施しております。また、クラブマネージャーの養成につきましては、まずは総合型地域スポーツクラブのあり方、目的を理解していただくことを重点に、スポーツ振興会の役員、スポーツ推進委員を対象に実施しております。今年度の養成講座は約50名の方が参加していただきました。

○会長

クラブマネージャーの養成につきまして大学の先生方、何かアドバイスをいただけないでしょうか。

○委員

指導者の育成研修については携わっていないので、スポーツクラブのマネジメント、経営について精通していないのでアドバイスが難しいですが、スポーツ経営学を学ばれている方にご教授していただいた方がよいのではないのでしょうか。

アメフトの指導者を養成する協会の専門課程部分に関する指導のお手伝いは経験がありますが、チームのマネジメントについては全く知識がないのでスポーツ経営学を学ばれている方にご教授していただいた方がよいのではないのでしょうか。

○会長

愛知県内では半田市のような先進市からマネジメントの部分について学ぶ

ことも多いのではないのでしょうか。

○事務局

講師の選定や内容については、先進市の広域スポーツセンターの教員などに講師を依頼しております。またスポーツ経営学については龍谷大学経営学部の先生に講師を依頼しております。様々なパターンで振興会の方に総合型地域スポーツクラブのあり方、目的が浸透するように実施しております。

○委員

地域スポーツクラブの立ち上げを過去に手伝ったことがあるのですが、スポーツ振興会の寄せ集めでしたので、マネジメントがしっかりしておらず、また選手の取り合いになってしまい結果うまく行かなかったことがあります。なかなかヨーロッパ型のスポーツクラブみたいにバドミントンをやりながら水泳やサッカーをやらせてみたり、親としてはゴルフをやらせてみたりと根本的な発想が日本は全然違う。実際、運営者の中にマネジメントの専門家を入れないとうまくいっている地域はないのではないかと思います。先進地域ではそれなりにマネジメント力を持った方が核となって活動している。また地域が目的や意義に対して賛同しており活動している。

小牧市では、現在や将来的には中学校の部活動はどのような位置づけになっているのか。また高校の部活動をどのような位置づけになっているのか。本当にヨーロッパ型のスポーツクラブにするなら大人まで対象にしなければならぬ。いろいろと整備して行く中で総合型地域スポーツクラブを充実していくなら将来のビジョンをしっかり持って、人、組織をどう構築していくかが重要であると思います。

○教育長

先生の話聞いて小牧市の総合型地域スポーツクラブにおける欠点・問題点がよくわかりました。それぞれの経過ですと、各種競技団体、小中学校の部活動は個々に活動しているのが実情であります。10年ほど前に小中学校の土日の部活動は、地域の指導者の支援をいただいて実施するジュニアクラブという形でやってきましたが、仮登録のままで実際は学校の先生が土日も指導していることも多かった。また勝利至上主義に陥ってしまったという経緯もありまして、平成24年度から文科省の指導要領も変わりましたので地域の支援をもらいながら活動する地域連携型部活動に中学校は移行していく方針であります。責任は最終的には校長にあるという形に移行していきます。中学生、高校生を含めた総合型地域スポーツクラブにするにはたくさん問題点もあり、理想も高いなと思いました。

○委員

振興会会長としての声としてお話をさせていただきますが、現在、4校区が総合型地域スポーツクラブに近い形として移行しておりますが、米野と味岡はスポーツ振興会自体が地域スポーツクラブになっておりますが、小牧南と三ツ淵はスポーツ振興会の中に総合型クラブを作り、活動しております。各

種目別のクラブだと競技性の高いクラブになってしまいますが、総合型クラブは土日でファミリーが参加できる種目を年間で計画を立てたり、いろんな世代の方が様々な種目で楽しめる活動を目指して実施しております。

○委員

クラブマネージャーというのはボランティアなのか、会費の中から報酬がでるのか。またスポーツ振興会の会長や役員が兼任をされているのか、あと将来的には16小学校区に地域スポーツクラブを設置する方針なのか。

○事務局

それぞれの振興会で異なりますが、勧めているのは有償職員を置いてクラブマネージャーとしてスポーツクラブ取りまとめを行っているところもあります。また将来的にはできるところから16小学校区に総合型地域スポーツクラブを推進していく予定です。

○会長

他に何かご質問はありませんか。
議題第1号につきましては承認いただけますか。

(議題第1号について承認された)

○会長

続きまして議題第2号「平成25年度社会体育事業実施計画(案)」及び議題第3号「平成25年度社会体育予算(案)及び主要事業(案)」を議題とします。

○事務局

(議題第2号及び第3号、資料に基づき概要を説明)

○会長

議題第2号及び第3号と内容が重なる部分が多いのでまとめて何かご質問、意見等はありませんか。

推進計画の中で、市民総スポーツ化を目指すにあたっての具体的な数値目標というものはありますか。

○事務局

スポーツ推進計画の中に定めておまして、「週に1度は運動をしている市民の割合」を平成30年度までに50%以上にするという目標があります。

○委員

市民がスポーツに参加する機会をたくさん提供することやトップレベルの選手の試合、プレーを間近で観戦する機会を提供することはスポーツにとって非常に重要なことではありますが、このような行事の周知の方法についてはどのように行っていますか。

○事務局

情報提供の方法といたしまして、生涯学習課が発行している「こまなび」、

秘書広報課が発行している広報「こまき」、体育協会が発行している「体協だより」や各々のホームページで情報提供しております。

○委員

体育協会委託事業の中の小牧シティマラソン大会について、近隣市の春日井市でも招待選手を呼んだり、以前は小牧市でも大会の盛り上げのために元オリンピック選手などの招待選手を呼んだりしており、また以前だと警察の協力のもと、白バイを出してもらったりしていた。現在ではそういった盛り上がりは欠けていると思うのですが、それについていかがでしょうか。

○事務局

マラソン大会についてですが、毎年公道を使ってコースを設定しているのですが、現在では参加者がかなり多くなってきておまして、主管としては5,000人が限界ではないかと考えております。以前は警察に協力してもらい白バイも出動していたが、取り締る側としては、公道を使っているので事故のないように、少しでも早く規制を解除したいという意向があります。そういったことから招待選手を迎えてさらに参加者を増やすのは、振興会、競技団体等の応援があって成立している事業でありますので、いかななものかという議論をしております。

○教育長

今年度のシティマラソン大会でも、参加者が多すぎてスタート直後に子どもが3,4人転んでしまい、隣を走っていた大人のランナーが抱き上げていただいたので大きな事故には至らなかったものの、今後の課題といたしましては、いかに安全面に配慮して大会を実施していくかということと実感しました。

○委員

今年度、シティマラソン大会に10kmの部で参加したのですが、全体的に警備員、走路員の人数が少ないように感じました。特に怖いと思ったのが、東田中の交差点から文津の交差点までは片側車線しか規制しておらず、走っている最中にふらっと車が走行している車線にはみ出してしまったら大事故に繋がるのではないかなと心配になりました。選手が抜かすために車線をはみ出して走っている人もいたので危ないなと思いました。

○会長

小牧市は街中にコースを設定しており、犬山市のマラソン大会は、川沿いの土手にコースを設定しているので安全面などはかなり苦労するなと思います。

○事務局

小牧山城築城450年記念事業に関連してノルディックウォークの紹介や平成25年度に実施予定のノルディックウォーク講習会の紹介。

○委員

社会体育指導者の育成に関する事業について、どのように情報提供し、募

集者を募っているのか。

○事務局

基本的には広報「こまき」で情報提供しております。公認スポーツ指導員養成講座は、12月頃に広報に掲載し、2・3月に実施しております。クラブマネージャー養成講習会は、スポーツ振興会の役員が対象ですので広報には掲載せず、毎年1月に実施しております。高齢者スポーツリーダー養成講習会は、25年度から新しく実施する講習会で、4月頃に広報に掲載し、6月から実施する予定です。

○委員

AED講習会も実施しているので、小中学校の職員室だけでなく、体育館にも設置してほしい。3あい事業で教室をやるときは、参加者は高齢者が多いので事前に消防署からAEDを借用して教室をやっているのが現状です。

○教育長

学校の施設、備品の整備となりますと学校運営という視点で考えがちですが社会体育の振興のために学校の体育館等を開放しているので、AEDは重要な機器でありますので体育館への設置も検討したいと思います。

○会長

AEDの普及についてはどの部署が所管になりますか。

○事務局

AEDは救命機器の一つということで、保健センターが所管になって各施設への設置に取り組んでおります。現在、市内ほとんどの公共施設に設置しておりますが、体育館など日曜にも利用がある施設という視点では検討していなかったもので一度そういう視点でも考えていきたいと思っております。

○委員

25年度の予算について、全国大会等出場者激励金には1件あたりどのぐらいの金額を贈呈しているのか、小中学校運動部活動謝礼はどの程度の謝礼が支払われているのか、参考までに教えてください。

○事務局

全国大会等出場者激励金について、全国大会に出場する個人の選手に原則1万円、世界大会に出場する選手には原則2万円で、団体については最大5万円で人数に応じて支給額を変更しております。小中学校運動部活動謝礼については、平日2回まで、土日祝日は5回までという回数制限を設けて1回2,000円を支給しております。

○委員

中学校ジュニアクラブを見直す中で保護者会を組織するとありますが、今まで定期的に保護者会が部活動に参加していたのかと今話題になっている地域の指導者による体罰の問題について教えてください。

○事務局

保護者会を組織するのが、必須条件になっておりますが、実態としてはそ

れぞれ異なった保護者会になっており、年1回程度の総会を開いたり、夏季練習の際にドリンクを作って支援して直接関わっている保護者会もあります。25年度から地域連携型部活動になるにあたって、地域と連携した活動を目指すので外部指導者の紹介や年間の指導方針の報告などをするように学校に働きかけていきたいと考えております。

○教育長

スポーツに関する体罰の問題ですが、大阪市の桜宮高校の体罰を皮切りに、愛知県では刈谷高校、豊川高校の体罰が取り上げられ、さらにオリンピック柔道連盟の体罰まで取り上げられております。スポーツのトップレベルを目指す指導の厳しさが注目を浴びており、小中学校の部活動まで注目を浴びる状況になっております。今回ジュニアクラブから地域連携型部活動への見直しをするにあたって、勝利至上主義からの見直しや学校内で活動している以上、最終的な責任は校長が負い、そのために必要な決定は校長が行うということで中学校のジュニアクラブを地域連携型部活動へと移行を図り、体罰のないように今後も取り組んでいきたいと考えております。

○会長

ありがとうございます。他にはよろしいですか。それでは、議題第2号及び第3号につきまして、承認いただけますか。

(議題第2号及び第3号について承認された)

○会長

次に4 その他ですが、事務局から何かありますか。

○事務局

事務局からは特にありません。

○会長

ありがとうございました。以上を持ちまして、平成24年度小牧市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。